

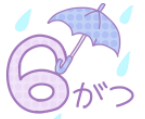


新明小だより

学校教育目標 まなぶ・つながる・やりぬく

～ 新たな挑戦 明るい未来へ 希望あふれる新明小学校 ～ 校長 稲村 浩之

東松山市立新明小学校
学校だより
6月号
令和8年5月26日



若葉の緑がまぶしく、さわやかな風が心地よい季節となりました。

先日行われました運動会では、多くの保護者の皆様に温かいご声援をいただき、ありがとうございました。今年のスローガン「輝け！心を燃やせ！三色の戦い」のもと、子どもたちは仲間と力を合わせ、競技や応援に全力で取り組みました。最後まであきらめず頑張る姿や、互いに励まし合う姿が多く見られ、運動会を通して一人ひとりの成長や仲間との絆の深まりを感じることができました



～ アンパンマンに学ぶやさしさ (本当の強さとは) ～ 6月お話集会より

皆さんは、正義の味方 アンパンマン を知っていますか。アンパンマンには、しょくぱんまん や カレーパンマン など、たくさんの仲間がいて、みんなで仲良く暮らしています。

ところが、ときどき ばいきんまん が現れて、いたづらをします。そのいたづらを見つけたアンパンマンは、「それはいけないことだよ」と、勇気をもって止めようとします。

しかし、アンパンマンは、ばいきんまんのことを悪く言ったり、嫌ったりはしません。注意しているのは、ばいきんまん自身ではなく、

「いたづら」という行為です。そして、ばいきんまんが困っているときには、助けたり、相談に乗ったりすることもあります。

これは、「行為を憎んで人を憎まず」という考え方です。悪いことは注意する。でも、その人まで嫌いにならない。とても大切なことです。学校生活の中でも、友達同士で意見が合わなかったり、嫌なことを言われたりすることがあるかもしれません。そんなとき、相手をすぐに「嫌な人」と決めつけるのではなく、「どうしてそんなことをしたのかな」と考えてみることも大切です。もちろん、いけないことは、きちんと伝えなければなりません。

でも、そのときに、相手を傷つける言葉ではなく「あなたのことを大切に思っているから伝えるんだよ。」という気持ちで声をかけることができれば、きっと相手の心にも届くはずですよ。

また、アンパンマンの作者・やなせたかしさんは、戦争を経験し、「誰かを傷つけたり、周りを壊したりして、本当の幸せは生まれない」という思いを作品に込めました。

本当の強さとは、相手を負かすことだけではありません。困っている人に優しく声をかけたり、間違いを伝えたり、仲直りしようとしたりすることも本当の強さです。

5月は、運動会の練習の中で、「大丈夫？」
「一緒に頑張ろう！」と、友達を思いやる声をたくさん聞くことができました。励まし合う姿を見て、とても嬉しく思いました。

アンパンマンの歌には、「なんのために生まれて、なにをして生きるのか」という言葉があります。私は、人は自分も周りの人も幸せにするために生きているのだと思います。

だからこそ、これからもアンパンマンのように、正しく、優しく、勇気をもって行動できる皆さんで居てくれることを願っています。

<校長室から> しんらいタイムより

今年度から、毎週水曜日の2時間目は「しんらいタイム」という本校独自のカリキュラムがスタートしています。この時間は、人との関わり（ソーシャルスキル等）や豊かな心を育む時間（集団活動等）として、様々な活動を行います。先週、ある班では少人数グループでハンカチ落としを行いました。

